



ウトナイ中だよ!!

令和2年度 第 10 号 令和3年1月29日(金) 発行

校訓
文武両道

学校教育目標
創自挑 造律戦

自分で考えて、判断し、行動することの大切さ

～管理型教育では、これからの中を担う人材は育たない～

苦小牧市立ウトナイ中学校長 中川 恵介

今日、大人の世代の多くは、管理型教育の中で育ってきました。厳しい規則や規律の中で育つこそ、勤勉で真面目な人間が育つと考えられていた時代でした。

私の高校時代の校則もとんでもないほど厳しく、今考えると理不尽なものでした。

制服のほかに「制帽」がありました。登下校はもとより、修学旅行の時などもその制帽をかぶることが義務付けられていました。周囲からは、奇妙な目で見られることも珍しくありませんでした。しかし、極めつきは、昭和初期の学生が着ていたような「学校指定防寒コート」でした。全員に購入が義務付けられましたが、さすがにこれは着ませんでした。ほとんどの男子生徒は、真冬であっても学生服の上に何も羽織っていました。しかし、驚くことは、この学生服の中に着るものまで規定されていました。一例を挙げると、華美な色のものは禁止されていました。靴下も白と決められていました。

高校3年生の頃であると記憶していますが、生徒と教師が「校則」について話し合う機会が設けられました。生徒からは「なぜ制服の中に着るものまで規定されなければならないのか?」と質問がありました。それに対する教師側の答えは驚くべきものでした。「制服の中のシャツが、赤やピンクなどの華美なものであれば、非行の原因となるからである」との回答だったのです。「赤やピンクのシャツを着ている人は不良なのだ」と思ってしまうところでした。話は変わりますが、私は高校3年間、運動部に所属していたことから(部の規則により)髪型は「坊主頭」でした。また、試合前には、気合いを入れるために更に短く「青々とした坊主頭」にすることとなっていました。髪の毛を短くすればするほど気合いが入るのであれば、お坊さんは毎日気合いが入っているじゃないかと私は思いましたが、それを信じている仲間も少なくありませんでした。私としては、頭がスースーして、ただただ寒いだけでした。体育系の大学に進学すると、私が所属した部は、これまた部の規則によって大学2年生まで「坊主頭」でした。お陰様で16歳から20歳までの多感な青春時代は、髪型のおしゃれをすることもなく変わらぬ坊主頭でした。そんな大学時代は、坊主頭ではなくジャージを着ている先輩には、大きな声でいいさつすることを規則として義務付けられていました。しかし、大学の周辺で坊主頭ではなくジャージを着ている一般人はたくさんいました。間違って近所の中・高校生や住民に大きな声でいいさつをしたことも少なくありませんでした。このように私の高校・大学時代は理不尽な規則によってかなりしばられた生活でした。その規則には、当然のことながら説得力のある理由や根拠などはありませんでした。こうした管理された環境下では、人間は「～しよう」という行動的な目標を設定することは少なくなり、「～しないようにならう」という否定的な考え方が多くなってしまいます。

以前、STVのどさんこワイドにも出演している元北海道日本ハムファイターズのコーチであった白井一幸さんの講演を聴いたことがあります。白井さんは、講演の中で「日本ハムファイターズでは、指示命令、管理型の指導方法から、選手自身が自ら考え、行動し、成長していく自発性を促す指導へ転換し、そして成長した選手が最も力を發揮できる環境や目標達成できる組織を作っている」と話していました。また、一昨年、本市で講演を行った「尾木ママ」の愛称で知られる、教育評論家の尾木直樹さんは、「AIをきっかけに学び方を変えないと、日本も国際社会ももたなくなる。OECODは



地球温暖化も見据え、これからは生き延びる力を必要としている。その3つの柱は”新しい価値を創造する力”と自然現象や政治などあらゆる領域で矛盾をどう調整していくかという”緊張とジレンマの調整力”、そして”自分を客観的に語れる力”である」と語っていました。

本校には「校則」がありません。理由は、学校教育目標の「自律」にもあるように、主体的に生きていく力、すなわち自分で考え、よりよく判断できる能力を育成したいからです。「宿題」も一律に提示することをやめます。校則や宿題があっても、なくとも、その根拠や理由が明確で、かつ説得力のあるものでなければなりません。親の躊躇も理由や根拠がなければ、それは「しつけ」ではなく、単なる「おしつけ」になってしまいます。子どもたちが自分で考えて、判断して、行動することは、「未来へのパスポート」であると私は思います。

後期学校評価に ご協力をお願いします

前期と全く同じアンケート調査を実施し、集計結果を前期と比較することで教育活動の改善の度合いを測ることを目的としています。評価の対象となる期間は、令和2年10月1日以降となりますのでご留意願います。

なお、調査の結果につきましては、3月上旬までに学校だよりや学校ホームページ等でお知らせいたします。

冬季中体連大会

【フィギュアスケート部】

北海道中学校スケート大会フィギュアスケート競技

1月9日 帯広の森スポーツセンター

〈女子Cクラス〉

2年 第8位

【スピードスケート部】

北海道中学校スケート大会スピードスケート競技

1月9・10日 明治北海道十勝オーバル

〈女子1500m〉

1年 第26位

〈女子3000m〉

1年 第11位

〈男子1500m〉

2年 第9位

〈男子3000m〉

2年 第15位

この結果、両選手は1月30日から長野市で行われる全国大会に出場する予定でしたが、残念ながら新型コロナウィルス感染症拡大の影響により全国大会は中止となりました。



2月 行事予定

1(月)	1・2年二者懇談 (1・2年午前日課、3学年6時間日課)
2(火)	1・2年二者懇談 (1・2年午前日課、3学年6時間日課)
3(水)	1・2年二者懇談 (1・2年午前日課、3学年6時間日課)
4(木)	1・2年二者懇談 (1・2年午前日課、3学年6時間日課)
5(金)	1・2年学力テスト(5時間日課)
8(月)	職員会議(5時間日課)
10(水)	学年会議(5時間日課)
11(木)	建国記念の日
12(金)	新入生学校説明会(オンライン)
15(月)	スクールカウンセラー来校日 3学年私立入試前日指導 (1・2年5時間日課、3学年午前日課)
16(火)	私立高校入試(A日程) (1・2年5時間日課、3学年自宅学習)
17(水)	私立高校入試(A日程) (全学年通常6時間日課)
18(木)	1・2年学年末テスト 職員会議 (1・2年午前日課、3学年5時間日課)
19(金)	1・2年学年末テスト 私立高校入試(B日程) (1・2年午前日課、3学年6時間日課)
20(土)	私立高校入試(B日程)
22(月)	いじめ悩みアンケート
23(火)	天皇誕生日
25(木)	学年会議(5時間日課)